



勉強会 報告書

- 富岡町視察の振り返り
- 富岡町の現状と展望

後 援：富岡町

開催日：2017年6月24日（土）

かながわ「福島応援」プロジェクト（kfop）

ホームページ <http://kfop.jimdo.com/>

代表メール info.kfop@gmail.com

2017年7月17日発行 不許複製・禁無断転載

1. はじめに

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop) では、福島の実況を伝える事業の一環として、総会開催に合わせて勉強会を企画、開催しました。今回、テーマとして、2017年4月に帰還困難区域を除き避難指示が解除された富岡町の方をお招きして、富岡町の実況と展望の状況をお聞きするとともに、前段として2015年4月に実施した富岡町視察研修の振り返りを行いました。

現地のボランティア活動にご参加いただいている会員の方々に、視察研修の実施当時から現在どのような環境にあるのか、その実況と今後の展望を知っていただくことを目的としました。開催は一般の方、関東に避難を余儀なくされている方々へもご案内を差し上げ、kfopの催しに初めてご参加いただいた方もあり、貴重なご意見を伺うこともできました。

2. 開催概要

(1) 日時・次第

日時：2017年6月24日(土) 15:00～17:00

タイトル：勉強会「富岡町の実況と展望」

会場：鶴見公会堂 第3会議室(神奈川県横浜市鶴見区豊岡町2-1 フーガI)

講師：菅野利行さん(富岡町 参事兼郡山支所長)

主催：かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

後援：富岡町

〔勉強会次第〕

- | | |
|-------------|--|
| 15:00～15:05 | 開会挨拶・講師紹介 |
| 15:05～15:15 | 2015年4月に実施した富岡町視察研修の振り返りと現在の様子 [kfop] |
| 15:15～15:55 | 富岡町の実況と展望 [菅野利行様] <ul style="list-style-type: none">・2015年～2017年3月までの動き(交通、商業施設、除染など)・避難指示解除の範囲・解除後の動き(行政、民間)・町民の方々の動向・これからの課題 など。 |
| 休憩(5分) | |
| 16:00～16:10 | 神奈川県に避難されている方についての情報交換 |
| 16:10～16:35 | お話の内容全般についての質疑、意見交換 [全員] |
| 16:35～16:40 | まとめ [kfop] |
| 17:00 | 閉会 |
| 17:30～21:00 | 場所を変えての懇親会 [総会、勉強会参加者など] |

(2) 参加者数

勉強会 27人(うちkfop会員20人、一般7人)

懇親会 23人(うちkfop会員15人、一般8人)

(3) 講師紹介

菅野利行さん（現：富岡町参事 兼郡山支所長）には、kfop が 2015 年 4 月に富岡町の視察研修を実施した折に、宿泊先での研修のために、日中の別の仕事を終えられてからわざわざ宿までお越しいただきました。

地震と津波の発生時は総務課課長補佐として災害対策本部に所属され、情報収集に始まり、翌日に原発事故による全町避難が決まってからの慌ただしい手配、三春町から郡山市への避難所の移動など、現場で指揮をとられました。

またその後も、神奈川を始め各地での避難者懇談会などにも出席されていました。ここ数年は産業振興課長として現地の商工業の再開などにも携わられていたと伺っています。

今回の勉強会では、最近の動向を中心にお話しいただきます。神奈川に避難されている方の状況などもお伝えできればと思います。

3. 詳細

(1) 視察研修の振り返り

2015 年 4 月 11 日に実施した富岡町様の視察研修「福島 4 8 便（視察研修 1 号）」報告を基に

- ・実施した目的の確認
 - ① 東日本大震災と原発事故の『風化』をさせない。
 - ② 地元の現状、今を『正しく知る・伝える』。
 - ③ 自分達に出来ることを『考える』
- ・視察させていただいたところの確認

富岡町役場下郡山連絡所～富岡駅（車窓）～夜の森公園周辺、桜基準木付近（下車）～富岡二中・井出自工付近バリケード境（車窓）～富岡海岸（観陽亭）（下車）～文化交流センター学びの森（下車）～双葉警察署北隣「岡内東児童公園」パトカー遺構～毛萱（仮置場、焼却・破碎減容化施設）（車窓）～毛萱スクリーニング場（下車）

- ・参加者が感じたことの紹介
- ・当時（2015 年 4 月）と現在（2017 年 6 月）の様子（写真） など、振り返りを行った。



(2) 講師のお話（富岡町の現状と展望）

全般、ご用意いただきました「復旧・復興の取り組み」のスライドを投影して、2015年～2017年3月までの動き（交通、商業施設、除染等）、避難指示解除の範囲、解除後の動き（行政、民間）、町民の方々の動向、これからの課題などの話を伺いました。

- 富岡の町には徐々にではあるが、町民が戻ってきている。
- 除染も複数回実施されている。森林の線量は高いが、宅地は除染前からすると数値がさがったな、と感じる。国の居住許可の数値からするとまだ高いが。
- 総務課に所属していたときに「富岡町災害復興計画（第二次）」の作成にかかわった。避難指示が解除されたからといってすぐには帰れない町民もいる。離れていても富岡町とのつながりを維持してもらうために、「すぐに帰らなくてもいいですよ」という意味で『第3の道（人と町のつながりアクションプラン）』を盛り込んだ。このようなプランを明記しているのは富岡町だけ。
- 富岡町としては帰還を強いることはしない。帰る人、帰りたいけれど帰れない人、帰らないと決めた人、様々な人をつなぐのが富岡町の役目である。しかしもちろん、農業、住宅地、それぞれについて復興計画があり、それらに取り組んでいるところである。
- その後、産業振興課に移り今度は計画を遂行する立場になった。富岡町の復興なくして双葉郡の復興はないとの考えで、大型商業施設の開業に尽力した。数社と交渉したが、出店したのは結局、震災前から富岡町にあった企業だけ。



(3) 神奈川県に避難されている町民についての情報交換

- 私は浪江町から避難しており、東京都町田市で避難者の会を運営している。ご年配の方には解除されたら帰るといふ方もいらっしゃる一方、どうしても帰れないといふ方もいらっしゃる。アンケートを取ったら、30%、3千人くらいしか帰らない。内訳も高齢者、行政関係者が多い。帰れないといふ方には、ホームシックにかかっている方もいらっしゃる。会として、茨城や栃木など関東近郊に避難されている方を訪問し交流したりしている。帰れるまで元気で楽しい生活を送りましょう、と伝えている。

(東北の絆 サロン FMI 会 会長 木幡さん)

- 富岡町の住人が立ち上げた NPO に所属しています。その事業として若い世代との付き合いが多いですが、震災当時は小学生ぐらいだった世代。富岡の上の世代から町についての話を聞き、富岡に対して一定の思いは持っている。一方で、そういう思いが自分自身にとって重荷になっている面もあるが、自分で解決するしかないと思守っている。何か今のところにおいても、震災について、避難についての正直なところを共有する部分が持てないということもあり、富岡の人とは話ができる、という姿も見られる。富岡町にはもう帰れないだろう思いながらも、何らかの形でかかわっていったり、未来に向かっていくことについての期待を持っているのだろうと思う。帰った人と、戻らない人とのつながりを考えていく、とさきほどおっしゃられていたがそれはとても大切なことだと思ふ。

(とみおか子ども未来ネットワーク 事務局 金子さん)

(4) 最後に

限られた時間の中で、現在の富岡町の状況・課題など共有できました。また、避難されている方、富岡町と関わっている方のお話もお聞きすることができ、良い勉強会でした。

後述のアンケートにもある通り、もっと話を聞きたい、避難解除になった地域の現状を聞き非常に勉強になりました、などの声がありました。

ありがとうございました。

(5) 会場の様子 (写真)





(6) 参加者アンケート集計結果

1. 今回の参加のきっかけ・理由は？（いくつでも）
 - 7人：a. 福島でボランティアをしたいと思ったから
 - 3人：c. 日程や行程がよかったから
 - 1人：d. 知人・友人に誘われたから
 - 5人：e. その他（具体的に）
 - ・ 昨年からのご縁でメールをいただいて
 - ・ 勉強会のテーマに興味があった
 - ・ 富岡町の今の様子を知りたかったから
 - ・ 会員だから

2. メール・ブログなどでの情報提供についてはいかがでしたか？
 - 11人：a. ちょうどよかった
 - 1人：b. 少なすぎた

3. 今回の時間はいかがでしたか？（遠慮なく）
 - 7人：a. 非常に満足
 - 4人：b. 満足
 - 2人：c. 不満
 - ・ 具体的な状況があまりよくわからなかつたのです。（初めての方）
 - ・ 菅野さんのお話をもっと沢山聞く時間が欲しかった。
 - ・ もう少し話をゆっくり聞きたかった。

4. 時間についてのご希望は？
 - 8人：今回と同じ時間がよい

5. これからも kfop に参加しようと思えますか？（遠慮なく）
 - 12人：a. 参加したい
 - ・ 現地の情報UPデートがしたいので

6. 今回の活動についてご感想・ご意見・神奈川に伝えたいこと、ご自由にお書きください。
- ・個人では見えない課題も活動等に参加させていただくことにより沢山見えてきます。その都度活動に参加する意義を改めて感じます、自分も含めて。現地の状況を知らずにいらっしゃる方も多い訳ですが、正しい情報と現地の課題を先ずは知っていきたいと思います。
 - ・勉強会はいろいろなテーマで今後もおこなっていただきたい
 - ・避難されている方々、それぞれに複雑な事業がおありでその対応を仕事とされている役場の方々はとても大変なことだと思います。難しいお仕事とは思いますが、町民の方のためにお仕事頑張っていて欲しいと思います。お身体を大切にしてください。
 - ・初めて参加になります。見るもの聞くもの新しい内容が多く勉強になりました。
 - ・大変良かった。
 - ・避難解除になった地域の現状をお聞きでき非常に勉強になりました。今後、所得が少ない層の問題が深刻になること、重くうけとめました。
 - ・2015年の視察研修に参加していないが、現在とあまり変化してないとのことなので、時間がかかるのであれば、長いおつきあいが必要なのかと思った。
 - ・準備、手配、ありがとうございました。
 - ・勉強会は話と映像だけではなくペーパーの資料、データがないと理解しにくいと思いました。
7. 今後の活動に期待すること、ご自由にお書きください。
- ・富岡町の菅野さんの話は40分位では足りないくらいだった。内容もたくさんあるのでまた続きを聞きたい。
 - ・復旧支援等の活動を通して気づく課題を現地の方々がどのように解決して行くのか時間はかかるとは思いますが、その経緯を共に知り勉強させて頂きたいと思います。インターネットの閲覧は興味の対象となるものに限られますので、HPもなかなか見てもらえないかと思います。バス出発時に短い時間でも何か表示できないかな?とも思いますが...
 - ・現地の活動になかなか参加できずすみません。
 - ・これからも講演会、勉強会参加したいと思います。企画準備ありがとうございました。
 - ・また話を聞きたいです。
 - ・この様な勉強会があればなるべく参加したいです。

8. あなたご自身についてお答えください。(あてはまるものに○をつけてください)

性別	男性(7人)、女性(5人)
年代	20代(0人)、30代(1人)、40代(3人)、50代(5人)、60代(3人)、70代以上(1人)
職業	会社員(4人)、自営業(3人)、パート/アルバイト(1人)、家事専業(1人)、定年後フリー(2人)、その他(2人)
被災地ボラ参加回数	今回が初めて(1人)、2~3回(1人)、4~5回(1人)、6~9回(1人)、10回以上(6人)

以上

4. 資料

(1) 勉強会レジュメ

かながわ「福島応援」プロジェクト

第1回 勉強会

- 富岡町視察（2015年4月）の振り返り
- 富岡町の現状と展望
- 後援：富岡町

- 日時：2017年6月24日（土）15:00～17:00
- 場所：鶴見公会堂 第3号会議室

1

© 2017 kfop.

2017/6/24

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

kfop 福島 48 便(視察研修 1 号)

報告書

2015 年 4 月 11 日 (土) ～12 日 (日) 実施

かながわ「福島応援」プロジェクト
 福島 48 便(視察研修 1 号) 報告

福島 48 便(視察研修 1 号) 報告

(公開用)

1. 実 施 日
平成 27 年 4 月 11 日 (土)

2. 目 的
(1) 東日本大震災と原発事故の『現状』をさせない
(2) 被災の現状、今を『正しく知る・伝える』
(3) 自分達にできることを『考える』

3. 主 体
かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)

4. 協 力
富岡町
富岡町職員の方 (ご案内)

5. 視察研修実施資料
福島 48 便(視察研修 1 号) < 富岡町視察研修 > 資料 < 20150319 > (別冊)
(富岡町の紹介、歴史、観光 MAP、地域の概要、視察行程、研修、参考資料)

©2015 kfop. All Rights Reserved. 1

(2) 振り返り資料



第1回 kfop勉強会
(3) 富岡町復興まちづくり計画

②計画期間
本計画は、「一次計画」で定めた計画期間（復旧期：2012 (H24)～2016 (H28)、復興期：2017 (H29)～2020 (H32)）を踏襲し、以下の通り。

2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
復旧期			復興期			
長期化する避難生活を支援するため、避難先で町民が安心して生活できる環境を整備する。並行して、1日でも早く町内に安心して帰還できる地域を整備するため、除染や主要インフラの復旧、復興公営住宅等の整備を重点的に実施する期間。			【帰還できる町民に対して】 震災前の状態を目指し早急に回復させるため、町内の除染、インフラの復旧、住宅再建、生活関連サービスの充実などを継続的に推進し、帰還を希望する町民の増加を図る。地域再生の素地を育み、安全・安心で新たな魅力を備えた「ふるさと富岡」の実現に向けて着実に取り組みを進める期間。 【当面帰還できない町民に対して】 町外（避難先）で、町民が快適な生活を送れるよう、生活関連サービスの充実を図る期間。			

12 © 2017 kfop. 2017/6/24

富岡町ホームページより引用

富岡町の様子 ～2015年当時と現在～



夜ノ森 桜並木(帰還困難区域)(2015年4月)

富岡町の様子 ～2015年当時と現在～



夜ノ森 桜並木(解除された地域と帰還困難区域)(2017年6月)

富岡町の様子 ～2015年当時と現在～



営業再開したガソリンスタンド(2017年6月)

富岡町の様子 ～2015年当時と現在～



分別・減容化施設
(2017年6月)

富岡町の様子 ～2015年当時と現在～



水稻実証栽培ほ場
(2017年6月)



富岡町の様子 ～2015年当時と現在～



JR富岡駅
(2017年6月)



JR夜ノ森駅の近く
(2017年6月)

富岡町の様子 ～2015年当時と現在～



JR富岡駅
路線バス
(2017年6月)

富岡町の様子 ～2015年当時と現在～



震災遺構の
パトカーと
慰霊碑
(2017年6月)

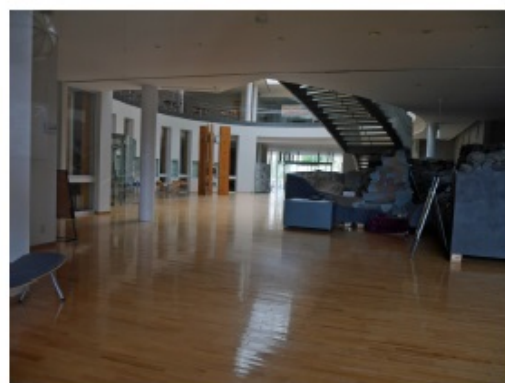
富岡町の様子 ～2015年当時と現在～



学びの森
(災害対策本部)
(2015年4月)



富岡町の様子 ～2015年当時と現在～



学びの森
(2017年6月)



(3) 参加者アンケート用紙

kfop第6回総会、第1回勉強会、懇親会（2017年6月24日）アンケート
〈ボランティアバス活動を総会、勉強会、懇親会に読み替えてください〉

本アンケートはkfop活動の以下に活用、役立てます。ご協力お願いします。

①活動状況をHPでタイムリーに紹介し伝える（投稿文紹介で下記項番8も引用させていただきます）

②皆様が感じていることを、当会運営・活動継続に反映する（建設的、現実的なご意見など）

〈アンケート回答は当日または2日程度でお願いします〉

※後日メール送付も受け付けます。宛先:info.kfop@gmail.com/件名:【アンケート】でお送りください

1. 今回の参加のきっかけ・理由は？（いくつでも）

- a. 福島でボランティアをしたいと思ったから
- b. 街中掃除（ホットスポット）をしたかったから
- c. 日程や行程がよかったから
- d. 知人・友人に誘われたから
- e. その他（具体的に： _____)

2. 出発までのkfopからのメール・ブログなどでの情報提供についてはいかがでしたか？

- a. ちょうどよかった
- b. 少なすぎた（どんな情報が必要だったか具体的に： _____)
- c. 多すぎた（どんな情報が不要だったか具体的に： _____)

3. 今回の活動内容・時間はいかがでしたか？（遠慮なく）

- a. 非常に満足 b. 満足 c. 不満 d. 非常に不満

(b.c.d.の方、不足点を一つでもお聞かせください： _____)

4. 活動時間についてのご希望は？（遠慮なく）

- a. 今回と同じ活動時間（15時ころまで）がよい [横浜帰着 22時頃、費用 12,800円]
- b. 定時（16時）まで活動。食事・入浴後、朝帰着 [横浜帰着 5時頃、費用 25,000円+実費]
- c. その他（具体的に： ex ルートについて _____)

5. これからもkfopのボランティアバスに参加しようと思いませんか？（遠慮なく）

- a. 参加したい（もしあればなぜ？： _____)
- b. 参加したくない（もしあればなぜ？： _____)

6. 今回の活動についてご感想・ご意見・神奈川に伝えたいこと、ご自由にお書きください。

7. kfopの今後の活動に期待すること、ご自由にお書きください。

8. あなたご自身についてお答えください。（あてはまるものに○をつけてください）

性別	男性・女性
年代	20代・30代・40代・50代・60代・70代以上
職業	会社員・自営業・パート/アルバイト・家事専業・定年後フリー・その他
被災地ボラ参加回数	今回が初めて・2~3回・4~5回・6~9回・10回以上